

# 農村環境創造基金事業の 実施状況について

令和3年2月17日

# 1. 令和2年度の農村環境創造基金事業の実施状況

- ・「豊かな自然環境保全」や「都市農山村交流」等の活動の活性化を図るため、基金を造成（造成年度H5～H12）  
**基金造成額：13億2千万円**（負担区分：国1/3、県2/3）
- ・運用益を含めて前年度末の**基金残高の3%以内**で事業を実施

基金造成年度	令和元年度末の基金残高	令和2年度基金事業	
H5～H12年度	1,039,115千円	(1)豊かな自然環境保全対策	16,025千円
		(2)都市農山漁村交流対策	6,501千円
		(3)県民の意識づくり推進	8,538千円
		計	31,064千円

## 2. 令和2年度の農村環境創造基金事業

事業名	予算額(基金分)	所管
① 棚田保全活動支援事業	500	農村振興課
② 美の里保全活動支援事業	600	農村振興課
③ 中山間地域チャレンジ支援事業	3,500	中山間地域対策課
④ とやま農業・農村サポーター活動支援事業	1,087	農村振興課
⑤ 中山間地域保全パートナーシップ推進事業	1,863	農村振興課
⑥ 鳥獣被害防止総合対策事業	6,703	農村振興課
⑧ とやま帰農塾推進事業	5,601	農村振興課
⑨ 「とやまの田舎」交流支援事業	800	農村振興課
⑩ 田んぼの生き物調べ	419	農村振興課
⑪ 水土里探訪ウォーク(※R2は中止)	939	農村整備課
⑫ とやまの農山村写真展	1,699	農村振興課
その他(HP運営、ふるさと夢とやま発行、景観保全活動支援ほか)	7,353	農村振興課ほか

単位(千円)

# (1) 豊かな自然環境保全対策

## ① 棚田保全活動支援事業※

※細越（氷見市）は新型コロナの影響で事業中止

### 耕作放棄地利活用、農村体験活動などの棚田保全活動を支援（1地区）

R2年までに31地区を支援（棚田オーナー、環境管理等）

#### R2実施地区：黒部市池尻

遊休農地等を利用した山菜（こごみぜんまい）の栽培面積の拡大事業



山菜の植え付け



追肥作業



草刈り作業

# (1) 豊かな自然環境保全対策

## ② 美の里保全活動支援事業

### 自然環境や農村景観の保全・再生活動、体験学習会等を支援（3地区）

かみこうぜんじ  
富山市八尾町上高善寺



合口頭首工の見学

まちなが  
富山市町長



「大かがり火」設置場所の整備

### 砺波市青島



しめ縄づくり



水土里歩こう会での献穀田の見学

# (1) 豊かな自然環境保全対策

## ③ 中山間地域チャレンジ支援事業

### 中山間地域の集落と、地域内外の企業や団体等が連携して取り組む 地域活性化への試行的活動を支援 (18地区：3カ年以内)

耕作放棄地での染料作物栽培、各種体験の実施 (魚津市松倉)



地域探訪企画等による交流人口の拡大(富山市細入・下夕)



地域農産物のブランド化や都市農村交流等で地域活性化 (氷見市大野)



直売所を活用した地域活性化 (南砺市上平)



# (1) 豊かな自然環境保全対策

## ③ 中山間地域チャレンジ支援事業

	団体名	地域	年度	活動概要
1	片貝地域振興会	魚津市 片貝	2020 ～2022	「コミュニティセンターを活用し、グローバル化を図り情報発信する“かたかい”」 ・宿泊体験施設に改装した片貝コミュニティセンターを拠点に、交流・関係人口の拡大と地域のふれ合いの場を創出
2	TUNAGU PROJECT	魚津市 松倉(鹿熊集落)	2020 ～2022	「kakuma blue～藍からつながる持続可能な地域づくり～」 ・鳥獣被害を受けない染料作物「タデアイ」の栽培拡大、藍染の染料の販売拡大、藍染め商品のブランド化
3	山神協同営農	小矢部市 南谷	2020 ～2022	「農福連携と地域内農業者との協同作業による薬用作物栽培で荒廃農地の解消と地域コミュニティの構築を図る」 ・薬用作物の導入による荒廃農地の解消、生産物の付加価値向上、地域住民の所得向上、障がい者の雇用機会の創出
4	井波地域づくり協議会	南砺市 井波	2020 ～2022	「NEXT 100YEARS INAMI 日本遺産事業をきっかけとした、100年後の未来に井波文化を継承する地域づくり」 ・まちなか空き家等現状調査の実施、空き家等マップの作成、空き家等の活用にむけた提案、簡易改修の実施
5	よりあい処丸池	南砺市 上平(三村地区)	2020 ～2022	「“よりあい処丸池”を活用した地域活性化」 ・直売所「よりあい処丸池」を拠点に、住民がふれあいの場を生み出すとともに、地域の野菜や山菜を加工・販売
6	吉見活性化委員会	南砺市 太美山	2020 ～2022	「自然栽培農業と天然温泉で太美山地域を元気に」 ・自然栽培講座の開催、米粉やドライトマトの商品化、空き家を体験ハウスに整備、麻布ブランド商品の開発等
7	黒瀬谷地区活性化プラン推進委員会	富山市 黒瀬谷	2020 ～2022	「黒瀬谷地区活性化プラン推進プロジェクト活動」 ・コミュニティカフェの開設・運営、学童体験農園の設置、農作業体験の実施、地域ブランド米の生産拡大
8	砺波市梅檀野自治振興会	砺波市 梅檀野	2020 ～2022	「旧幼稚園舎を活用した地域活性化プロジェクト」 ・廃園となった幼稚園舎を改装し、集落のネットワーク拠点として地域コミュニティを維持に活用
9	花の里(長引野)を元気にする会	魚津市 長引野	2018 ～2020	「カノコユリ産地復活で、持続的な農業活動を図る」 ・絶滅危惧に瀕する「カノコユリ」を研究機関等関係者と連携し産地復活を目指す。
10	あさひ海里山活性化目指し隊	朝日町 宮崎、笹川	2018 ～2020	「海から里山までを活かした地域活性化の取組」 ・「ふるさと歩道」を活かしたトレイルランニング体験会・トレラン練習会などの開催
11	五位山活性化協議会	高岡 五位山	2018 ～2020	「ゆずから始まる地域再生！みんなの知恵で商品化へ～GOIYAMA地域活性化大作戦～」 ・未利用での地域資源である「ゆず」を活用した加工品開発や販売に向けた調査研究等
12	雄神楽天塾	砺波市 雄神	2018 ～2020	「雄神の里、農産物直売所の開設と特産品の商品開発・加工」 ・元気な中高年女性等の地域人材を活かしつつ、直売所開設等で地域活性化を目指す。
13	いぶき会	南砺市 土山・小又	2018 ～2020	「南砺市土山・小又地区における啓扇桜(切枝)の商品化」 ・地域内温泉施設の排湯を利用した啓桜栽培で新たなブランド化を目指す。
14	コケ栽培で里山農地を活かしmassの会	富山市 小羽	2019 ～2021	「コケ栽培で里山農地を活かしモス(moss)」 ・耕作放棄地を活用したスギコケ栽培の試験・研究・流通検討等
15	神通峡ふるさと創生物語	富山市 細入・下夕	2019 ～2021	「神通峡ふるさと創生物語(地域の元気化大作戦)」 ・地域探訪企画実践等による交流人口の拡大、地域情報発信等
16	富山薬草生産組合	富山市 音川	2019 ～2021	「埋もれている農産物資源の掘り起こしによる商品開発及び中山間における薬草生産の振興」 ・未利用資源(薬草の廃棄部位)を活用した新商品(入浴剤)の試作、消費者評価調査
17	特定非営利活動法人氷見なごみの会	氷見市 大野	2019 ～2021	「大野地区のブランド化+都市住民との交流+おっさんパワーで地域活性化」 ・地域で栽培した山ぶどう、蕎麦のブランド化、都市住民対象の農業体験等
18	農事組合法人 医王の恵み	南砺市 西太美	2019 ～2021	「山ぶどうを地場産業に！」 ・山ぶどう加工品の試作研究、物産展等でのPR販売、ネット販売、オーナー会員の募集等

# (1) 豊かな自然環境保全対策

## ④ とやま農業・農村サポーター活動支援事業

### 中山間地域の集落

過疎化・高齢化により、後継者等が不足し、集落活動の維持が困難

地域外人材の協力により、集落機能の維持や伝統文化の継承を希望

⇒ **受入地域に登録し、情報提供**  
(登録数：41地域)

マッチング

### 県内外のNPO,企業、大学等

農村ボランティアや地域交流を通じて、地域のことを知りたい・貢献したい

⇒ **農業・農村サポーターに登録**

登録数：76団体

○大学・学生19団体（県外5団体含む）

地域外サポーターとして、継続的な活動へのきっかけづくり  
**中山間地域の活性化に寄与**

とやま農業・農村サポーター活動支援事業 イメージ



# (1) 豊かな自然環境保全対策

## ④ とやま農業・農村サポーター活動支援事業

【取組状況】 令和2年度は12月末までに県内で10回の活動を実施、延べ98人が参加

No	月	日	受入地域	活動場所	活動概要	サポーター団体	参加人数
1	5	31	利賀百姓塾	南砺市利賀	有機無農薬田んぼの手植え	農林水産部、農村振興技術連盟、個人	4名
2	6	21	小菅沼・ヤギの杜	魚津市小菅沼	コキア苗定植	農村振興技術連盟、個人	8名
3	7	11	NPO法人こば	富山市小羽	電気柵設置	農林水産部、農村振興技術連盟、個人	8名
4	7	24	小菅沼・ヤギの杜	魚津市小菅沼	コキア除草、じゃがいも掘り	農村振興技術連盟	15名
5	10	3	氷見なごみの会	氷見市大野	山ぶどうの収穫作業	農林水産部、農村振興技術連盟、水土里保全研究会、水産研究所、観光振興室、日本海冷蔵、個人	23名
6	10	4	利賀百姓塾	南砺市利賀	自然栽培稲刈取り、稲架掛け	農林水産部、農村振興技術連盟、個人	5名
7	10	11	小菅沼・ヤギの杜	魚津市小菅沼	ニンニク種植付、雑木刈取り	農林水産部、農村振興技術連盟、個人	12名
8	11	7	NPO法人こば	富山市小羽	電気柵撤収	富山短期大学、農林水産部、農村振興技術連盟、中山間地域対策課、個人	14名
9	11	8	小菅沼・ヤギの杜	魚津市小菅沼	牧場造成、牧草の種まき	農村振興技術連盟	4名
10	11	15	小菅沼・ヤギの杜	魚津市小菅沼	コキアの実を取る、ほうき作り	農村振興技術連盟	5名

計98名

### 氷見なごみの会 ▲ (氷見市)



山ぶどうの収穫作業 (10月3日)

### 小菅沼・ヤギの杜 ▲ (魚津市)



牧場造成 (11月8日)

# (1) 豊かな自然環境保全対策

## ⑤ 中山間地域保全パートナーシップ推進事業

中山間地域の問題を抱える集落等と地域貢献や農業活動等に参加したい企業・市民団体等の連携促進を図るため、中山間地域活性化フォーラム等を実施。



11月27日  
新川中山間地域活性化フォーラム

近年茅場の整備が困難になっている中、集落と地域社会への貢献に取り組むNEXCO中日本との連携などにより、茅場の下草刈り、茅刈り、茅株の植付を実施。



南砺市菅沼集落付近での茅場の整備

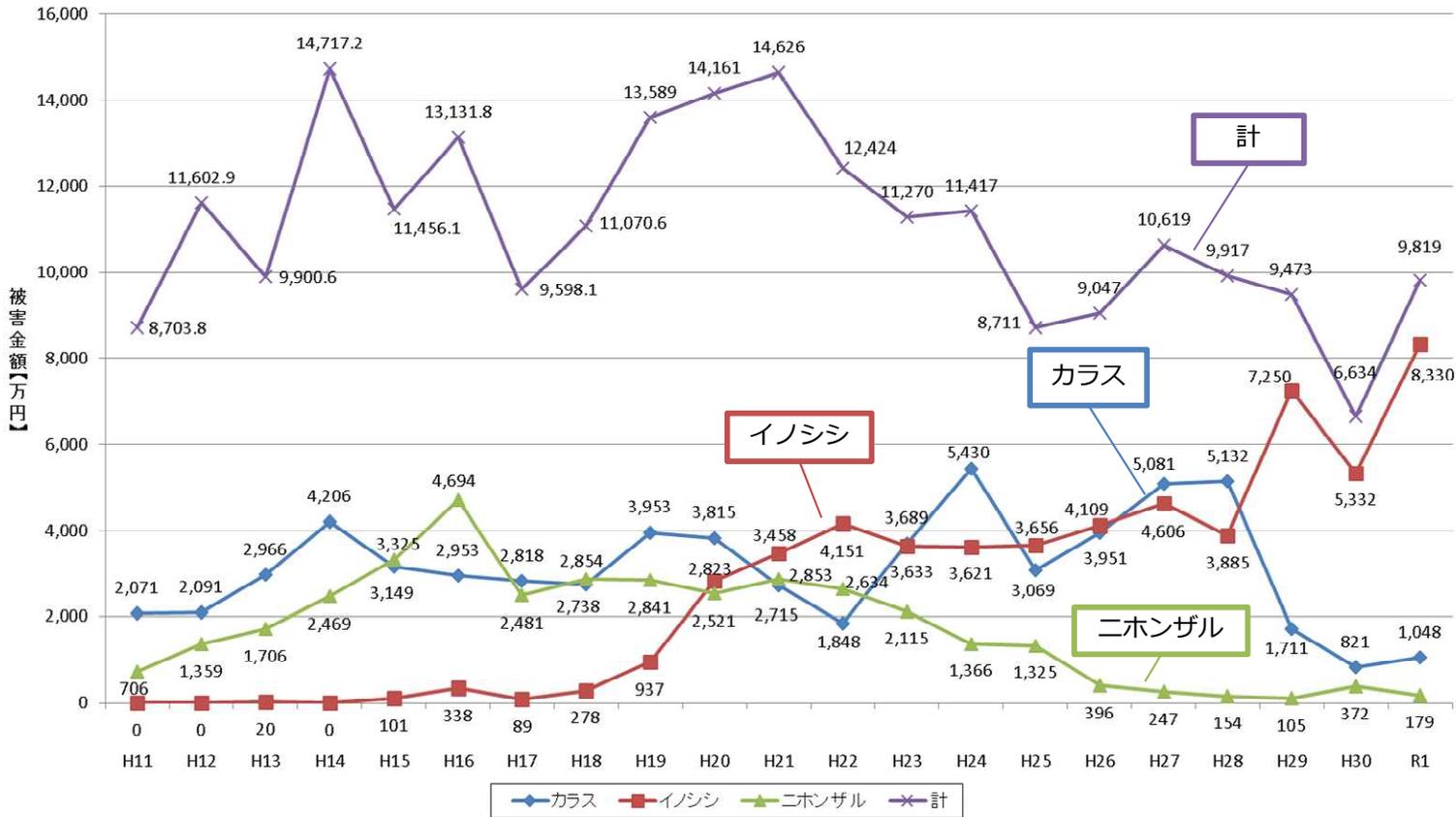
パートナーシップ推進デスク（県内4農林振興センター、農村振興課）を設置し、中山間地域における集落と企業・団体等の協働活動の推進のためのマッチング・活動支援を実施。（11件）

活動場所	企業・団体	集落・生産組織等	活動概要
魚津市	tunagu project	魚津市鹿熊集落	集落の不作付地を活用し、藍染めの原料となる「タデアイ」の栽培から染料までの加工を実施、産地形成を図る
魚津市	こられた家	魚津市片貝地区	片貝コミュニティセンターを拠点として実施される交流活動において、食事を提供
魚津市 (入善町)	ニイカワーノ	魚津市稗島集落	新川管内女性農業者で構成、地域で育てられた農産物の販売や加工を行い、生産物を通して人の絆が深まる活動を促進
富山管内全体	とやま里山体験ネットワーク（農村部の活動組織）加盟団体	NPO法人里山倶楽部、立山自然ふれあい館他	当センターから定期的にメール配信により、農村部のNPO法人等のイベント情報を都市部のNPO法人等に伝え、参加者の拡大等を支援する
富山市 婦中地域	富山薬草生産組合	富山市婦中町音川地区他	中山間地域で生産される薬用作物の未利用部位を商品化し、富山市の都市圏の消費者に提供するため、JA、福祉施設と連携し、管内の直売店での販売や薬用植物の効率生産を実証する
小矢部市	山上協同宮農組合	小矢部市論田集落	地域特産物栽培の安定及び継続に向けた取り組みを行う
高岡市	五位山活性化協議会	高岡市福岡町五位山地区	ゆずを活用した地域の活性化支援
氷見市	特定非営利活動法人氷見なごみの会	氷見市大野地区	特産の山ぶどう、蕎麦のブランド化に向けた取り組みを行う
南砺市	中日本高速道路(株)	南砺市菅沼集落	合掌造り家屋に必要な茅場の再生に向けた取り組みを行う
南砺市	(農) 医王の恵み	南砺市西太美集落	ワイン醸造のため、山ぶどう収穫体験会開催
南砺市	吉見活性化協議会	南砺市太美山集落	耕作放棄地で薬草（シャクヤク）栽培に取り組む

# (1) 豊かな自然環境保全対策

## ⑥ 鳥獣被害防止総合対策事業

主要鳥獣における農作物被害金額の推移



### ○耐雪型侵入防止柵の整備

#### 【事業内容】

高齢化、人口減少等により、電気柵の維持管理が困難となっている地域で、耐雪型侵入防止柵の整備を支援

#### 【設置延長】

令和2年度 8.8 km  
(累計(県単独事業分) : 34.5m)

#### 【設置市町村(R2)】

高岡市、小矢部市、上市町

### ○被害防止対策連絡協議会運営

#### 【事業内容】

被害状況等の情報共有や各種関係団体等との連携強化を図るために設置した協議会の活動を強化

#### 【R2実績】

県協議会 1回開催



## (2) 都市農山漁村交流対策

### ① とやま帰農塾

- ・都市農山漁村交流を通じ、田舎暮らし体験ができる「とやま帰農塾」を県内3市町で6講座を実施（4講座は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止）。
- ・令和2年度の参加者は46名（うち県外者35名、20代以下15名）

※五箇山掘レッキング塾を除く

- これまでの参加者1,486名（うち、県外参加者1,002名）
- 移住者 42名

笹川塾（朝日町）→中止

黒部塾（黒部市）→中止

立山塾（立山町）

やまだ村塾（富山市）

ながたん塾（富山市）

灘浦塾（氷見市）→中止

国吉塾（高岡市）→中止

井波塾（南砺市）

五箇山なぎ畑塾（南砺市）

五箇山掘レッキング塾（南砺市）



なぎ畑体験  
(南砺市：五箇山なぎ畑塾)



和紙作り体験  
(立山町：立山塾)



無農薬有機野菜収穫  
(富山市：ながたん塾)



そば打ち体験  
(富山市：やまだ村塾)

## (2) 都市農山漁村交流対策

### ○オンライン帰農塾※

※基金活用事業ではない（地方創成臨時交付金を活用）

新型コロナウイルス感染拡大の影響で「とやま帰農塾」の一部が中止  
⇒新たな交流スタイル創出の試みとして「オンライン帰農塾」を開催  
(全2塾)

#### 南砺塾（参加者5名）

#### しめ飾りづくり体験&交流



特産品を事前送付



当日の様子

開催日：12月26日（土）14～16時

参加費：5,000円

内容：しめ飾りづくり&オンライン交流会  
里芋、干柿、銀杏などを事前送付

参加者：30～50歳代の女性5名  
(首都圏4名、北海道1名)

参加者の声：

「オンラインでも空気感が伝わる」  
「塾長さんのお話がとても親しみやすい」

#### 立山塾（参加者6名）

#### 陶芸体験&交流



特産品を事前送付



当日の様子(画面)

開催日：1月23日（土）17～19時

参加費：10,000円

内容：陶芸体験&オンライン交流会  
越中瀬戸焼・片口、日本酒  
棚田米、立山天然水等を事前送付

参加者：30～50歳代の女性4名、男性2名  
(首都圏4名、大阪・長野各1名)

参加者の声：

「アナログ人間にはハードルが高いと思っていたが、リモートでも楽しくできると実感」

## (2) 都市農山漁村交流対策

### ② 「とやまの田舎」交流支援事業

条例に基づき指定された**交流地域活性化重点地域**（以下「重点地域」）において、県外からの交流人口の拡大を図る取組に対して支援

【条例】 : 都市との交流による農山漁村地域の活性化に関する条例（平成15年施行）

【重点地域】 : 都市との交流による活性化を推進する上で重要な地域（市町村の申し出により県が指定）  
平成16年～令和2年に12市町の48地域を指定

【支援事業】 : 地域の魅力ある素材や企画を活かして、県外からの交流人口の拡大を図る取組を支援

#### 令和2年度に指定された重点地域の概要

地域名	活動組織	活動計画
氷見市久目 （氷見市赤毛から拡大）	（仮称） 久目芸術祭実行委員会	プロ演奏家によるコンサート 体験型ワークショップ ウォーキング 地元農産物の産直市 など

※令和2年度は、新型コロナの影響により活動が見送られたことから、  
地域への支援を次年度へ延期

### (3) 県民の意識づくり推進

#### ① 田んぼの生き物調べ

水田や用水に親しむことで、農業や農村について理解を深めてもらうため、**子供たちによる生態系調査**を実施 参加者39名

2地区： 高岡市立野（7月16日；30名）、高岡市中田反保島（8月2日；9名）

捕まえた生き物を観察しよう

生き物はどこにいるかな？



高岡市 千鳥丘小学校  
(高岡市立野地内)



高岡市 反保島児童クラブ  
(高岡市中田反保島地内)

# (3) 県民の意識づくり推進

## ②とやまの農山村写真展

農山村地域の景観や田舎暮らし等の魅力を広く知ってもらい、その維持・保全や活性化を図るため、「とやまの農山村写真展」を開催。

応募総数 321点 (一般; 178点、ジュニア143点)

応募者数 208名 (一般; 85名、ジュニア123名)

受賞作品数 18点

一般 ; 10点 (知事賞3、棚田賞2、特別賞5)

ジュニア; 8点 (知事賞2、棚田賞1、特別賞5)



R3年2月12日～15日応募全作品展示  
(富山県民会館 ギャラリーD)



一般部門 最優秀賞  
「星降る夜に」(立山町)



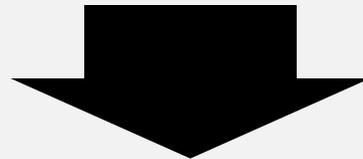
ジュニア部門 最優秀賞  
「川幅がちがう五分水路」(上市町)



R3年2月12日表彰式  
(県農林水産部次長より知事賞授与)

### 3. 令和3年度の取組

- 基金事業を引き続き実施し、県内各地で展開されている地域活動に対して、きめ細かく支援
- 特に、**中山間地域**においては、
  - ・ 高齢化や人口減少の進行に伴う担い手減少
  - ・ 農業生産活動や地域コミュニティ機能の低下



上記を踏まえ、以下の地域活性化の取り組みを強化

- ・ 令和2年3月に策定した『**富山県中山間地域創生総合戦略**』に基づき、**他部局の施策と密接に連携**
- ・ 中山間地域の有する**多面的機能の発揮**を図るため、**地域資源の保全**やそれを活用した**新たな事業の創出等**を支援
- ・ 新型コロナの影響による農山村への関心の高まりを受け、**リモート交流**や**映像発信**など新たな手法による交流の推進